

福祉サービス第三者評価事業調査項目【・内容評価基準】 <自己評価結果 育精福祉センター 成人部門 令和5年度>

山梨県福祉サービス第三者評価事業 評価基本項目			内容評価基準				
評価分類		NO	評価項目	全体評価結果			評価・課題・特記事項
A-1 利用者の尊重と権利擁護	(1) 自己決定の尊重	A①	①利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	A	B	C	特性に考慮し、意思や希望を尊重し対応しているが、表現の少ない方の思いを汲み取ることが難しかった。コロナの影響もあり、実現できなかった面もあった。
	(2) 権利侵害の防止等	A②	②利用者の権利侵害の防止に関する取組が徹底されている。	A	B	C	権利擁護や虐待について、虐待防止委員会を設置し毎週会議にて検討している。虐待を未然に防ぐためにも、虐待防止自己チェックリストを活用、課題に対して解決、改善に取り組んでいる。マニュアルはしっかり整備されており、研修も実施している。
A-2 生活支援	(1) 支援の基本	A③	①利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	A	B	C	一人ひとりの特性を十分に理解し、自立に配慮した支援を行うが、職員個々の意識にばらつきがあり、差が出てしまった面も感じられた。
		A④	②利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	A	B	C	インターネットを活用したり絵カード等を利用する等、一人にひとりに配慮を行いコミュニケーションを図ったが、意思を汲み取ることが難しい場面があった。思いを汲み取るためにも、引き続き様々な方法によるコミュニケーション手段が必要。心理士や精神科医等、関係専門職と連携を図り、取り組みを進める。
		A⑤	③利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	A	B	C	利用者が訴えやすい、相談しやすい雰囲気作りに努めている。インターネットや絵カード等、様々な手段を用いて情報提供し思いを汲み取ることが課題。
		A⑥	④個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	A	B	C	コロナの影響もあり、外部との関わりは制限があった。またコロナ等の感染症の影響から、日程等の変更はあったが、内容に関しては、意向を尊重し場の提供に努めた。
		A⑦	⑤利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	A	B	C	特性に応じた適切な支援が行われるよう会議等で話し合い、検討を経て取り組むが、職員により力量の差があることを感じた。スキルアップが課題。
	(2) 日常的な生活支援	A⑧	①個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	A	B	C	コロナの影響もあったが、創意工夫してできる限り計画に基づいた支援を行った。食事については、利用者へのアンケートを実施し美味しく楽しく食べられるよう取り組んでいる。
	(3) 生活環境	A⑨	①利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	A	B	C	一部床の張替えを行うことや食堂等に空気清浄機を設置する等、生活環境の整備を実施した。バリアフリー化されていないところもあり、整備が今後の課題。
	(4) 機能訓練・生活訓練	A⑩	①利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	A	B	C	かかりつけ医や看護師に相談し機能維持ができるよう取り組んでいる。感染症の状況により、訪問マッサージ等、外部の方を断ることも多かった。
	(5) 健康管理・医療的な支援	A⑪	①利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	A	B	C	コロナの影響もあり以前に比べ、検温チェック等を含め体調管理について、より細かな面まで体調の変化を見逃さないよう気をつけるようになった。
		A⑫	②医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	A	B	C	安全管理のマニュアルが整っているが、各職員の意識や理解が不十分なところがあり、服薬ミスや引き継ぎミスがあった。感染症の研修等、職員への個別指導を定期的に行っている。
(6) 社会参加、学習支援	A⑬	①利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	A	B	C	コロナの影響もあり、なかなか利用者希望の社会参加を提供することは難しかった。個別に短時間、制限の中での活動の提供となった。	
(7) 地域社会への移行と地域生活の支援	A⑭	①利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	A	B	C	本人の希望で移行できたケースもあったが、コロナ等感染症の影響もあり、他事業所への利用については難しかった。	
(8) 家族等との連携・交流と家族支援	A⑮	①利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	A	B	C	コロナの影響もあり、家族参加の行事は自粛。制限の中、面会等を実施した。計画書の作成を含め、家族とは定期的に情報交換を行っている。	
A-3 発達支援	(1) 発達支援	A⑯	①子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	A	B	C	成人部門のため行っていない。
A-4 就労支援	(2) 就労支援	A⑰	①利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	A	B	C	就労支援は行っていない。
		A⑱	②利用者に応じて適切な仕事内容となるような取組と配慮を行っている。	A	B	C	
		A⑲	③職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	A	B	C	